

佐賀県の地震活動概況 (2023年10月)

令和5年11月6日
佐賀地方気象台

【10月の地震活動概況】

10月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした(9月は0回)。

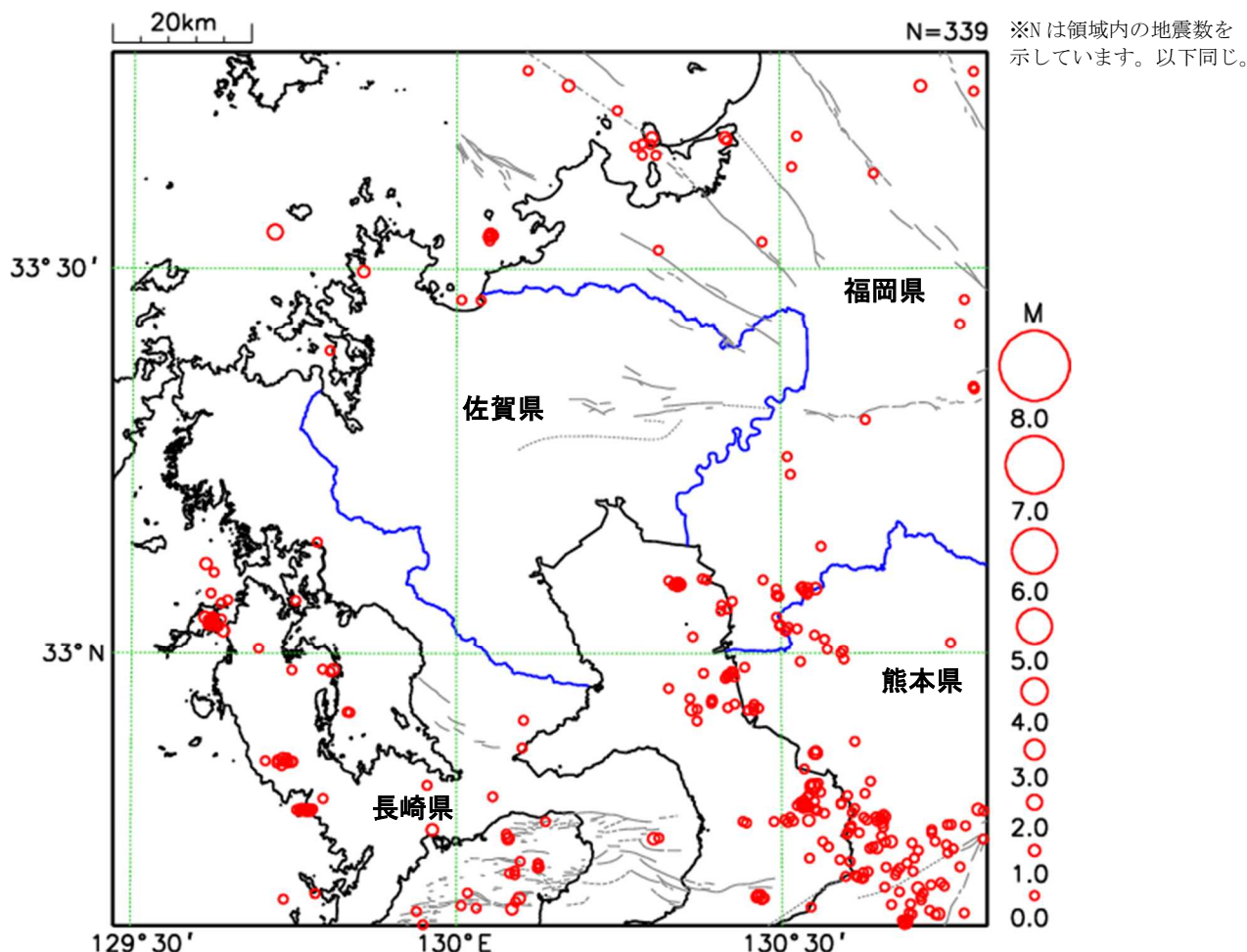


図1 震央分布図 (2023年10月1日~31日、深さ30km以浅、 $M \geq 0.0$)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

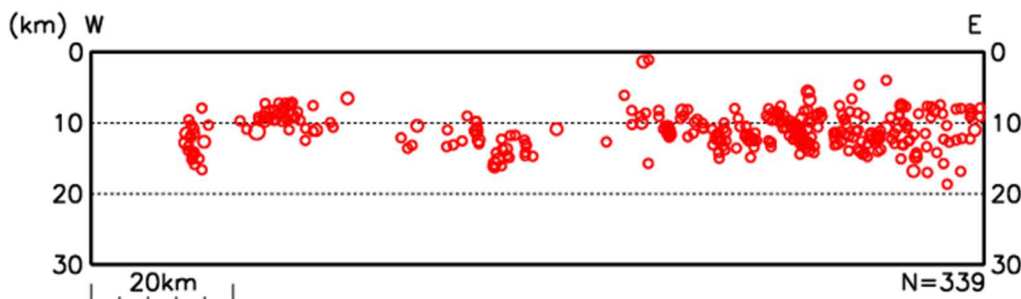


図2 断面図 (2023年10月1日~31日、深さ30km以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

地震以外の火山現象等に伴い発生する津波について

津波は海底で発生した地震に伴い発生することが多いですが、以下に示すような火山現象等に伴い津波が発生することがあります。

- 海底地すべりや火山噴火による地形変化に伴う津波
- 火山活動による山体崩壊に伴う津波
- 大規模噴火による気圧波に伴う津波^{※1}

※1 防災対応の中では「津波」として情報提供するため、本資料では「津波」と表記します。

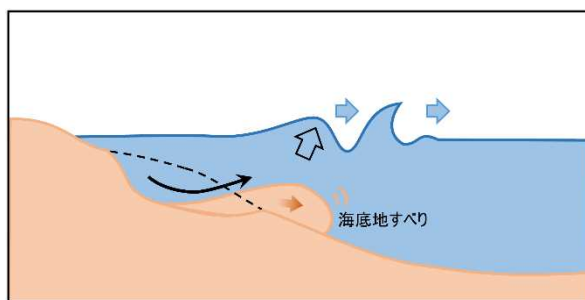
このような津波の場合でも、津波警報等^{※2}が発表された場合の取るべき行動は、地震による津波の場合と変わりません。ただし、津波の原因となる火山現象等を覚知できないこともあります。現象を覚知できたとしても、**津波が沿岸に到達する前に予想して津波警報等を発表することは極めて困難で、通常は津波が観測されてからその状況により津波警報等を発表することになります。**さらにその内容は随時切替えることがありますので、十分な留意が必要です。

※2 大津波警報、津波警報、津波注意報

○海底地すべりや火山噴火による地形変化に伴う津波

<代表事例>

- ・1741年 渡島大島（おしまおしま）の噴火



海底面の地形変動 → 海面の上下 → 潮位の変化

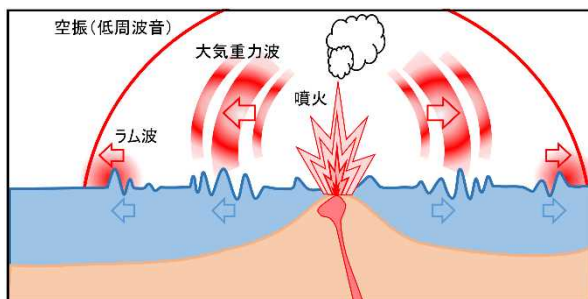
<情報発表>

- ・津波が観測される前の情報発表は、極めて困難。
- ・津波の原因となる火山現象等を観測できた場合、原則として国内の津波観測値に基づき津波警報等を発表、記者会見で呼びかけ。

○大規模噴火による気圧波に伴う津波

<代表事例>

- ・2022年 フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイの噴火

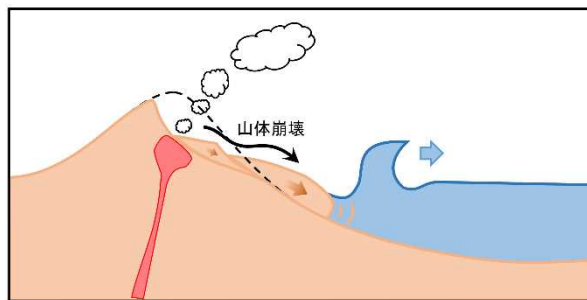


火山噴火 → 気圧波の発生 → 潮位の変化

○火山活動による山体崩壊に伴う津波

<代表事例>

- ・1792年 雲仙岳眉山「島原大変肥後迷惑」



火山噴火 → 山体の崩壊 → 潮位の変化

<情報発表>

- ・火山噴火や山体崩壊等の発生時刻が分かる場合には、到達予想時刻や津波の原因となる火山現象等の観測の状況について随時発表。
- ・衛星画像解析で明瞭な変化が観測された場合等、「津波発生の可能性が高まった」場合は、記者会見等で解説。
- ・津波の原因となる火山現象等を観測できた場合、原則として国内の津波観測値に基づき津波警報等を発表、記者会見で呼びかけ。

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami/various_causes.html